

釧路南ロータリークラブ会報

第10回 例会報告 2017.9.15 通算1693回

・点 鐘 上川原会長

・ロタリーソング

「それでこそロータリー」

ソングリーダー 早津 壮史会員

・入会記念祝

石井 昌弘会員 H28.9.16 (1年目)



亀井 麻也会員 (前週分入会記念祝)

・会長挨拶



みなさん、こんにちは！

会長挨拶をさせていただきます。9月1日に行われましたクラブ協議会並びにガバナー公式訪問例会には多くのメンバーの皆様に早い時間からご出席いただきありがとうございました。感謝申し上げます。ガバナーから南クラブの活動に対し大変お褒めの言葉をいただき、今後の活動にモチベーションを高く持つことができたと感じております。

また、先週の献血例会へも15名の出席をいただき感謝申し上げます。献血ができるということは健康であることの証でありますので、これからも健康管理には十分気をつけていただき春の献血時にも数多くのメンバーに出席していただきたいと思っております。

今日は安藤委員長が担当致します基本的教育と識字率向上について勉強させていただきます。宜しくお願い致します。

・幹事報告 澤山副幹事



みなさんこんにちは、奈良幹事に代わりまして幹事報告をさせていただきます。

* 厚岸ロータリークラブより会報が届いております。

* 9月8日に第3回会長幹事会を終了しております。

・委員会報告

親睦委員会 早津会員より報告



- ・本日のニコニコ献金
石井 昌弘会員 入会記念祝として

・本日のプログラム

「 基本的教育と識字率向上月間 」

担当 環境青少年委員会

◆安藤 整治委員長



世界の現状

世界人口 73 億人のうち 7000 万人の子供が学校に通えず成人の 5 人に一人は読み書き計算が出来ないとされています。わが日本国においては識字率 100%です。江戸時代でも武士は 100%、庶民でも 50%の人は字が読めたといわれています。わが国は教育については大変熱心な国であったのです。(寺小屋等) さて、現在でもアジア、アフリカの最貧国では子供たちは労働力として駆り出され満足な教育は受けられません。それらの国は教育予算も乏しく満足に教育が出来ない現状です。

このことが職業にも就くことが出来ず貧困を生みさらに生活困窮という悪循環となり経済的文化的格差を増大している。非識字率は途上国における人口の爆発的な増加をもたらす更なる環境の悪化をもたらす多くの生命が危機にさらされている現状を認識することが大切だ。

○識字プロジェクトの実際例

画期的なプロジェクトを実施する

バングラデシュではダッカのロータリークラブが実施した Concentrated Language Encounter = CLE (語学力集中研修講座) と呼ばれる識字プロジェクトが国の教育カリキュラムを革命的に変えました。プロジェクトは児童の読解力が言葉や物語を演じたり歌や踊りを通して活動的に学ぶことにより育まれ高められることを実証したのです。ロータリアンの推薦によりバングラデシュの小学校教師は教職免許状を取得するために CLE 方式コースの終了が必須とされるようになりました。1999 年 6 月までで 3136 人の教育者が CLE 研修を受け 357 校の 2157 以上の教室が CLE プログラムを実施し 162982 人の生徒がその恩恵を受けました。

○ボランティアとして教える

インドの非識字者の数は 1951 年の 2 億 3 千万人から今日の 3 億 4 千万人に増加していましたがこの増加は援助減の欠如と高出産率に起因するものです。この問題に取り組みため第 3010 地区ロータリアンはロータリアン、ロータリーアクター、インターアクター及び他団体を動員してデリー学校識字プロジェクトを援助する Navjot 識字キャンペーンと名付けられた革新的なプロジェクトを着手しました。現在 75 校余りが携わっているこのプロジェクトの下ロータリアン・ボランティアは地元地域社会および職場において非識字者を探し出し指導しています。

○職場で従業員を教育する

1998年ブラジル、サンパウロの Marilia Pioneiro ロータリークラブは職場での教育と呼ばれる識字プロジェクトを開始しました。本プロジェクトは、職場に識字プロジェクトを設立するよう地域社会の会社に奨励するものです。多国籍食品、飲料水企業、ネスルを始めとする幾つかの企業が従業員にとって都合の良い時間帯を提供しこのプロジェクトに参加しています。プロジェクトに参加している企業のひとつ、ササザキでは1500人に補修授業に登録するよう呼びかけたところ158名が登録しました。

○学校を救う

フィリピンの Taloy Norte という貧しい田舎の地域社会で、火事が3部屋からなる小学校を焼き尽くしてしまった時、Metro Baguio ロータリークラブは、援助に介入しました。クラブの建築家、エンジニアおよび建築専門家が現場を検査し仕様書を作成し、学校の再建にかかる費用の見積を出しました。全クラブ会員および家族がプログラムの資金調達に努力しました。中には材木、セメント、ペンキ、窓、ドアを寄付した会員もいました。地域住民とクラブ会員が一体となって学校再建し教育が地域社会の社会的ニーズの永久的解決をもたらすという彼らの信念を例示したのです。

○海外書籍を送る

オーストラリア、ニュー・サウス・ウェールズの St. Ives インターアクトクラブでは、パプアニューギニアの学校図書室のために千冊の書籍を収集しましたが、どのように送ればよいか援助を必要としていました。そこでスポンサーである St. Ives ロータリークラブはどのようなオプションがあるかを調査しました。その結果 Ranfurly Book Service というボランティアがパプアニューギニアの町へ書籍を送る非営利団体であることを知ったのです。

そこでロータリークラブが無料で本を配布しています。インターアクターの収集した書籍は Ranfurly のシドニー支部に送られロータリアンは今まで最大の書籍荷物を荷造りするのを手伝いました。インターアクトはその後ピクニックで野外料理を実施して集めた二百ドルに、ロータリークラブから得た同額の補助金を足して、Ranfurly Book Service に寄付しました。

○赤ちゃんのための本を寄贈する

ニューヨークの Endwell ロータリークラブは数年に渡り赤ちゃんのための本というプロジェクトを実施しており地元の2軒の病院で新しく母親になった女性のすべてに識字資料を及び子供にも読んで聞かせる本の詰まった買い物袋を渡しています。これまで1400以上の買い物袋が配布されました。ロータリアンは書籍の寄付を促すために書籍祭りも開催しています。また、クラブ会員はいらなくなった書籍のリサイクルを推奨しています。

(国際ロータリー・ホームページ・RIプログラム奉仕の機会に関する綱目より転記)



ロータリー：
変化をもたらす



・次回のプログラム

9月22日(金)

「秋の清掃奉仕例会」移動例会

会場 11:30~柳町公園

→12:30~パラダイスカフェ

担当：クラブ運営委員会

・点 鐘 上川原会長
今週の会報担当：早津壮史会員